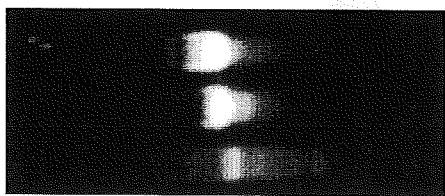


図1 感染性ウイルスを検出するためのフラビウスレポーターミニゲノム

M (+)鎖 (-)鎖



← ミニゲノムRNA

トランスフェクション



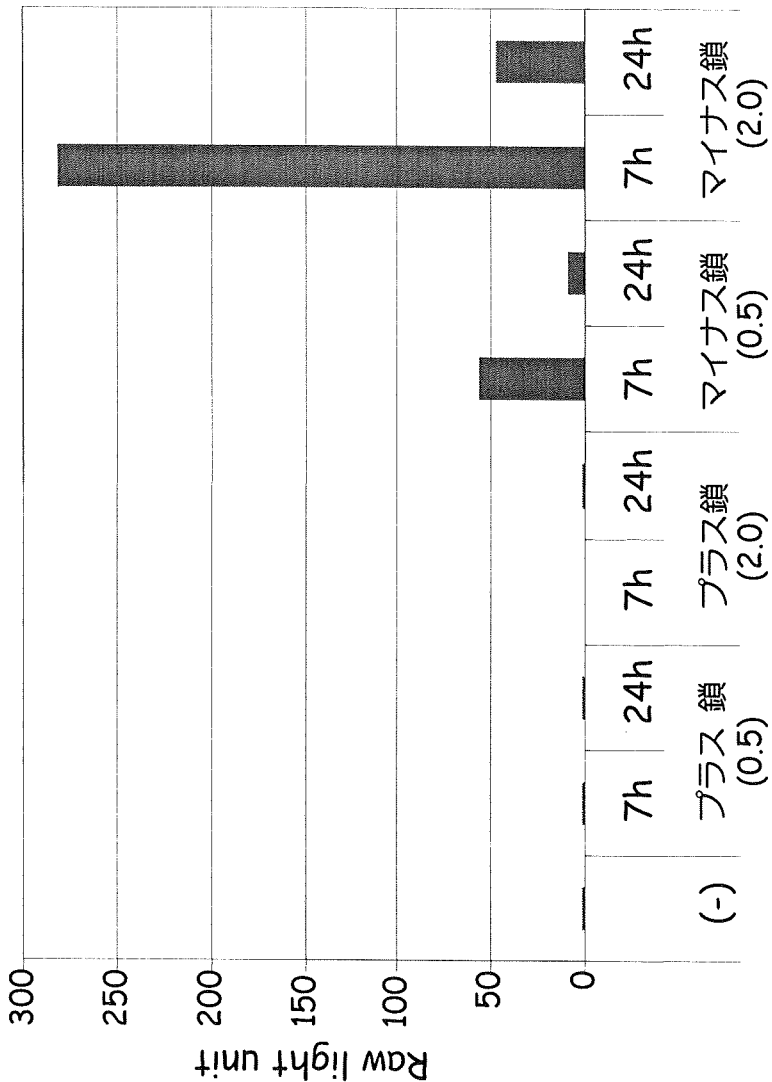
Vero cells

7~24h culture

細胞抽出液

ルシフェラーゼ解析

ルシフェラーゼ解析



プラス鎖: 5N C esdarefjcn7 \$3RI 3N

マイナス鎖: NE IRES\$ Luciferase 2 NG

図2 プラス鎖およびマイナス鎖ミニゲノムからのルシフェラーゼ遺伝子の発現

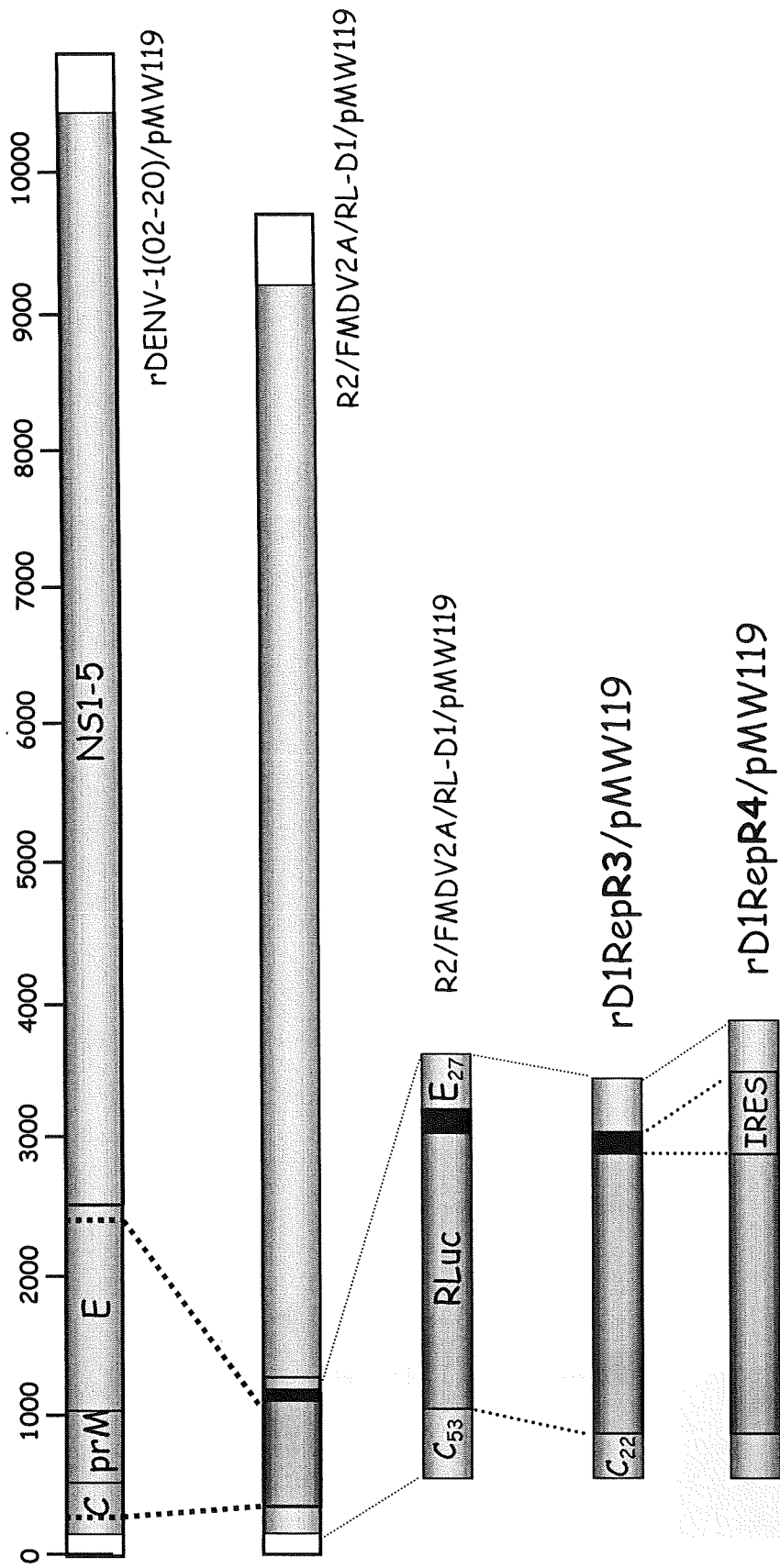


図3 デング1型ウイルスレポーターレプリコンR3およびR4

In vitro transcribed-
minigenome RNA (マイナス鎖)



+



In vitro transcribed-
replicon RNA (R3, R4)

transfection



Vero cells

8h culture

Cell lysate

Luciferase assay

Luciferase assay

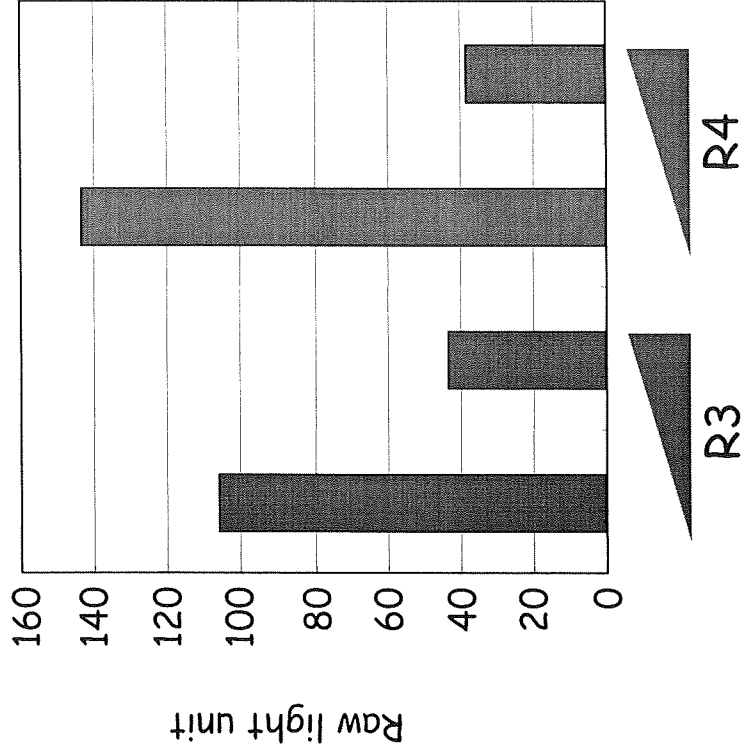
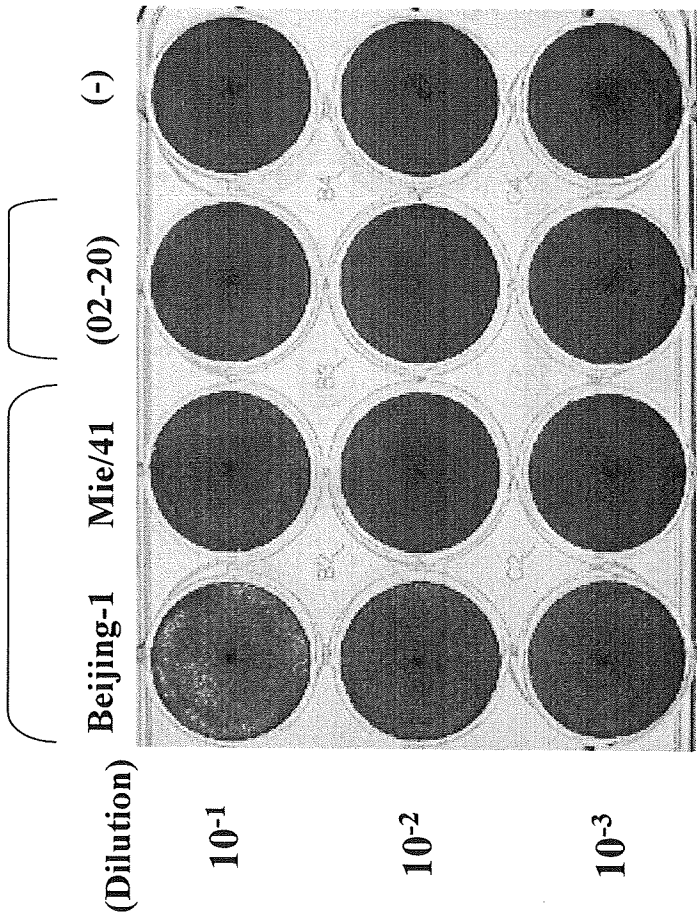


図4 レポーターレプリコンと共導入した場合のミニゲノムからの
ルシフェラーゼ遺伝子の発現

JEV (Mie/41) DENV-1 (02-20)



(Day 7)

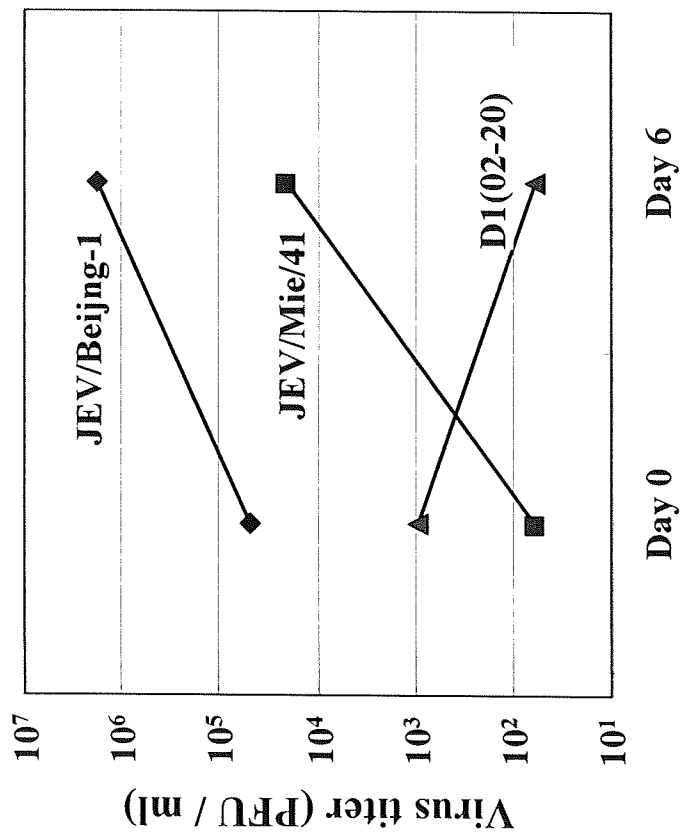


図5 Hepa1-6細胞へのデング1型ウイルスおよび日本脳炎ウイルス感染の試み

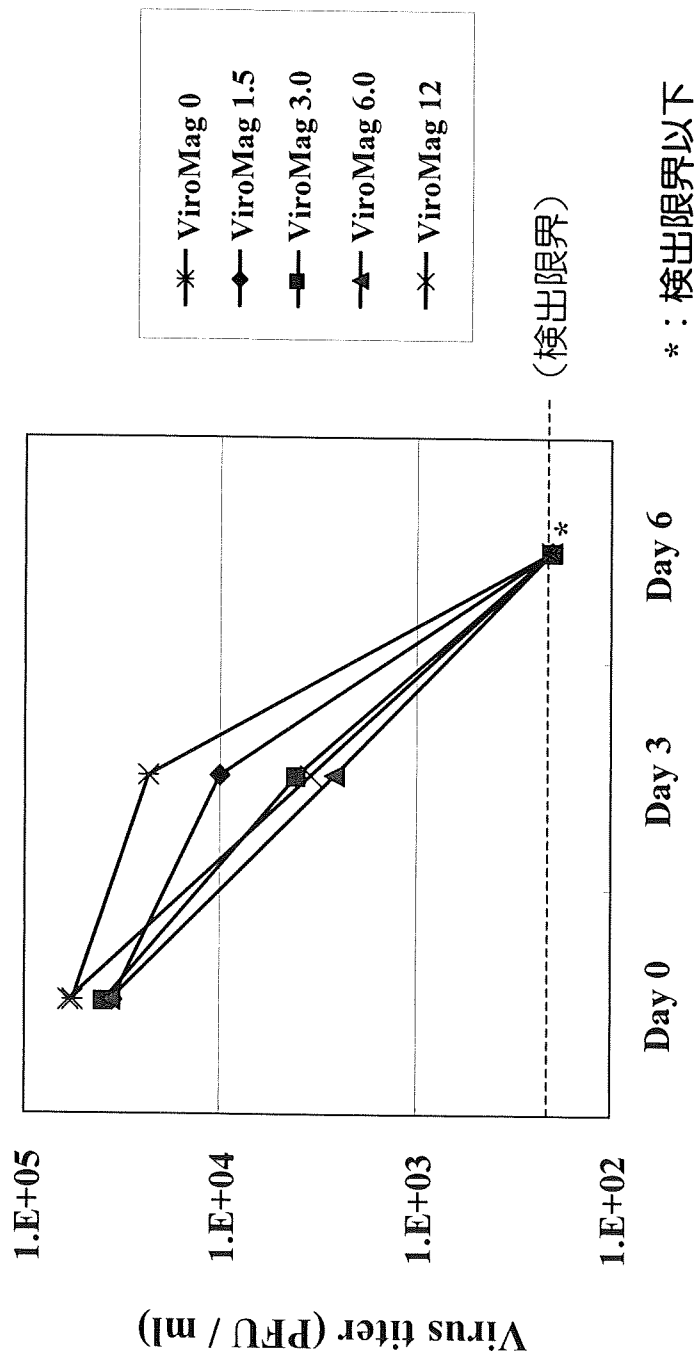
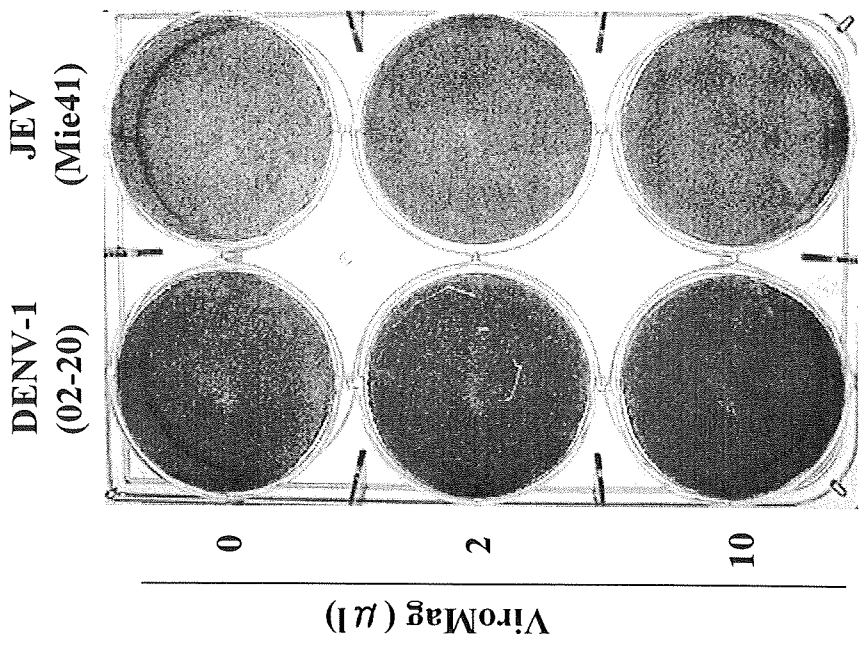


図6 ViroMagを用いたHepa1-6細胞へのデング1型ウイルス感染の試み



(Day 6)

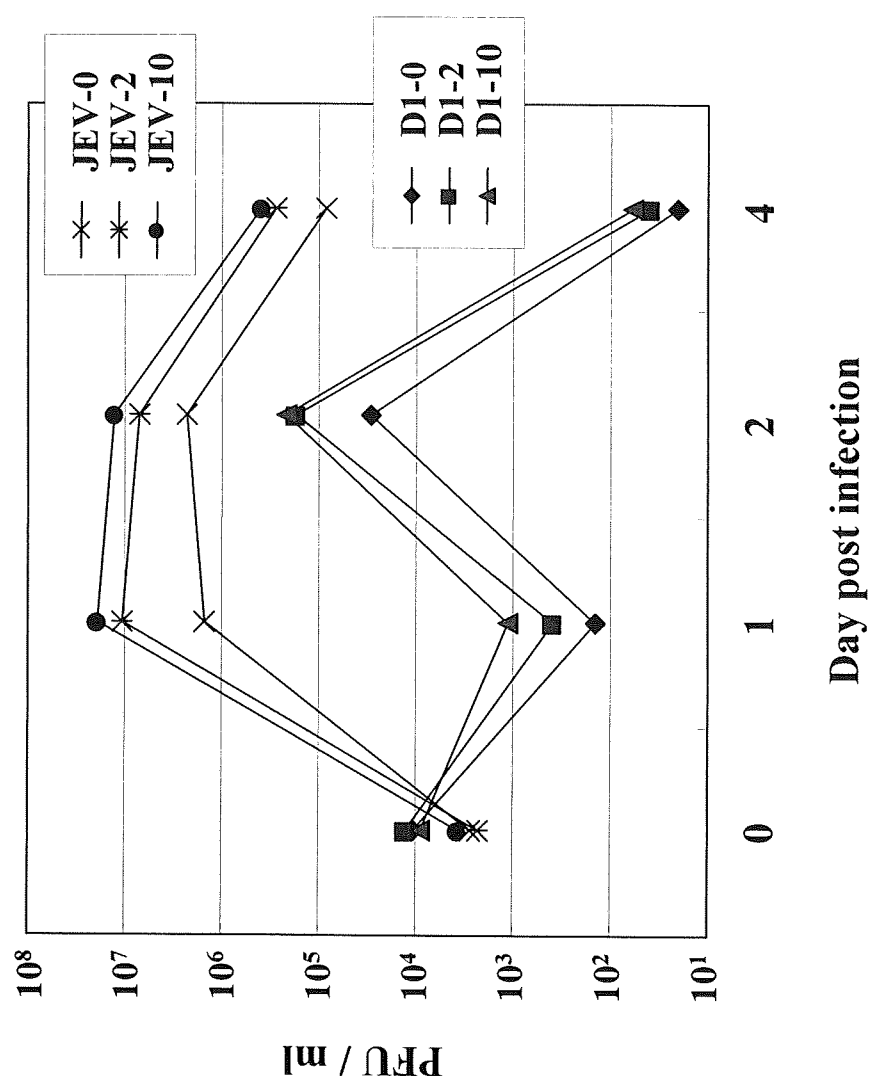


図7 ViroMagを用いたHepa1-6細胞へのデング1型ウイルスおよび日本脳炎ウイルス感染

